



## 留学の動機

アメリカで心理学を学ぶため。

## アーカンソー大学到着まで

8月12日午後6時頃に東京成田空港を出発し、5時間後に香港国際空港で乗り換え(乗り換え時間2時間弱)、そこから13時間半かけてロサンゼルス国際空港に着き、空港で11時間半過ごした後XNA空港行きの飛行機に乗り換え、3時間半のフライトの後XNA空港に到着しました。XNA空港からは、アーカンソー大学まで無料のシャトルバスが提供されているので(実際はバスではなく5人乗りの車でした)、1時間ほどか

けてアーカンソー大学に着きました。その後、大学からホテルまで(大学が提供しているホテル)そのまま連れて行ってくれました。私の場合は実家から東京の成田空港までの時間も併せて、大体 40 時間以上の移動になったと思います(成田空港から XNA 空港までは 35 時間)。20 時間弱で乗り換えも 1 回だけのフライトもあったのですが、こちらは片道 30 万円だったので諦めました。ちなみに私のフライトは 18 万円だったのですが、乗り換え 2 回 35 時間片道でこの値段は異常だそうです。

ロサンゼルス国際空港では乗り換えの時間がかかなり長かったのですが、午後 11 時半頃から翌日の午前 10 時頃まで過ごさなければならなかったのが、治安もあって気が休まりませんでした。幸いアーカンソー大学と一緒に交換留学に行くもう一人の生徒と知り合いだったので旅程は 1 人ではなかったのですが、1 人で行く場合はこのフライトはおススメしません(特に私は初めての海外だったので、1 人じゃなくて本当に良かったと思います)。航空券はかなり早めにとっておいた方が良いなと痛感しました。私は出発 3 週間程前に予約しましたが、かなり遅かったなと思います。遅くとも 1 か月半以上前には、少なくともサイトを見て確認をしておいた方が良いと思います。

### 授業が始まるまで(8月13日~8月21日まで)

授業開始日の 8 月 22 日(月)までは、留学生向けのオリエンテーションやイベント、A-Week という新入生歓迎のイベントが毎日あったので、毎日大学に行っていました。Student ID カードを受け取るまではミールプランが使えなかったのですが、毎日どこかしらで Cookout(外での食事会)や、イベントで無料で食べ物が貰えたので(ピザが多いです)、食べ物には案外困りませんでした。また、大学提供のホテルに着いた際に、留学生支援課の職員の方から支給されたお菓子や食べ物が入った袋を受け取ったので、それも食べていました。

留学生向けのオリエンテーションには他の国からの交換留学生が多く参加していましたが、ドイツやスペインなど、ヨーロッパから来た生徒が多かったです。また、留学生向けのオリエンテーションではないですが、NCN 米国大学機構のプログラムでアーカンソー大学に入学している日本人の生徒に多く出会いました。

英語に関しては、アメリカ英語が露骨に聞き取りやすいなと感じました。他の国からの留学生と話していると聞き取れなくて聞き返すことも度々あったのですが、アメ

リカ人との会話ではあまり困りませんでした。正直自分の伝えたいことが伝わらないということはそんなになかったので(“正しい”英語かどうかはともかく)、聞き取りの方が課題だなと思いました。

## 寮について

私の寮は Ozark Villas というキャンパス外にある寮で、大学まで歩いて 30 分ほどの距離にあります。ただ、大学からは無料のバスが出ており、バスの場合 15 分弱で学校に着きます。Passio Go! というアプリでバスのルートや時刻表を確認できます。バスは近くの Walmart という大きなスーパーマーケットに行く際にも利用できるのも、慣れておくと非常に便利です。キャンパス内の寮を希望していたのですが、今年は新生が例年より多く、キャンパス内の寮は新生に優先的に割り振られたとのことでした。

Ozark は入寮日が 8 月 18 日と遅く、15 日まではホテル、18 日までは Fiji dorm という寮で一時的に過ごしていました。13 日の入寮を希望していたのですが、Special Arrival Request というものを提出していたのですが、なかなか明確な返事が返って来ず、入寮の準備が完了していないとのことで、結局 18 日まで入寮は出来ませんでした。

部屋はかなり広く、ルームメイトが 1 人いるのですが、キッチンとリビングが共有でそれぞれに個別の部屋があるという具合です。IH ヒーター、TV、電子レンジ、冷蔵庫、食洗器などが備え付けであります。ルームメイトはそれほどパーティーが好きな人物ではないようですが、金曜日や土曜日の夜は周囲の家がかなり賑やかにしているので(集合住宅のような感じで、同じ Ozark Villas の寮の家が密集している場所です)、ルームメイトがパーティー好きだと、少なくとも私とは合わなかっただろうなと思います。またルームメイトが必ずしも 1 人ではなく、2 人や 3 人の場合もあるようです。希望する寮を登録する際に、朝型/夜型、綺麗好き/あまり気にしない、社交的/そうでもない、などを選ぶことができ、ルームメイトの選択の際の基準となるようです。ルームメイトの有無は選べますが、人数は選べません。



### 食事について

私は週 10 回のミールプランに加入しており、大抵の場合 Fulbright Dining Hall という場所で食事をとります。揚げ物とピザが多いなという印象です。意識していないと深刻な野菜不足に陥るので気を付けてください。

### 授業について

受ける授業については、島根大学にいる時点で大学とのメールのやり取りなどでほとんど決定していました。私は Introduction to Cultural Anthropology (ANTH 1023), General Sociology (SOCI 2013), General Psychology (PSYC 2003), Academic Writing (ELAC 1023), Seminar in United States Culture (ELAC 2043) という 5 つの授業を取る予定だったのですが(後ろの 2 つは留学生や英語が母語でない生徒向けの授業で、アーカンソー大学の留学生支援課の方におススメされました)、Seminar in United States Culture が授業開始日の 3 日ほど前に登録生徒数の少なさが原因で不開講となったので、

今期は 4 つ(12 Credit hours)の授業を取ります。ちなみに交換留学生は各学期で最低 12 Credit hours の授業を取る必要があります(大抵の授業は 1 つ 3 Credit hours です)。また、授業を検索したときに目にする 4 桁の数字(1023, 2013, 3056 とか)は難易度を表しており、1000 番台と 2000 番台は 1 年生向けの授業が多く、3000 番台から難しくなるようです。私は今期は英語力に不安があったのもあり 1000 番台と 2000 番台の授業しか取っていませんが、来期は 3000 番台の授業も取ろうと思います。

授業の決定については、アーカンソー大学からメールが来たらできるだけ早く決定することをおすすめします。全ての授業で生徒の定員数が決まっており、私が受ける授業を登録しようとした時点で、興味があった多くの授業は定員がいっぱいでした。また、授業が始まってから初週の 1 週間はいくらかでも授業を受けて(登録に成功していることが必須ですが)、その後受ける授業を決定することができるので(島大と同じ感じですが)、多くの授業を登録しておくが良いと思います。ただ、こちらの授業は 1 回あたりの授業時間が 50-75 分で、その分週に 2, 3 回授業をするというシステムなので、スケジュールを組むのが難しいです。ちなみに、週 2 回の授業は火木、3 回の授業は月水金で行われる傾向があるらしいです。

授業については、生徒が本当に積極的に発言するなと思いました。先生から質問があった時はもちろんですが、そうでなくても疑問に思ったことがあれば発言するという意識を多くの生徒が持っているなと感じます。私は授業終わりに先生に質問をしに行くことが多いのですが、非常に熱意を持って答えてくれるなと思います。先生に個人的に質問をしに行くと、アジア人がほとんどいないのもあって先生に顔を覚えてもらえるのでおすすめです。また、授業終わりが近づくと生徒の集中力があからさまに切れます。授業が終わったらいち早く帰るという意識を多くの生徒が持っているなと感じます。

課題については、初週にも関わらずかなり多いです。教科書の第何章を読むというものだったり、先生が用意した教材を読んできるといったものが多いです。前述の通り、1 つの授業が週に複数あるので、間隔が短く大変です。それもあってか、図書館をはじめ至るところで勉強している学生がいます。

また、教科書については、購入を勧めるメールを度々受け取ることになると思いますが、その時点で買うことはおすすめしません。メールではその授業で使用するという旨で教科書のリストを見ることができますが、必ずしもそのリストに載っている

アーカンソー大学 (University of Arkansas) 交換留学定期レポート  
人間科学部人間科学科心理学コース 3 回生  
H201015 大崎智貴

教科書が授業で使われるわけでないからです。購入は初回授業を受けて受講する授業を決定した後にすることを強くおすすめします。



### 総括と今後

はっきり言って私はそれほど国際交流や大勢の人が集まるイベントが好きという訳でもないのですが、大勢での集まりや友人と話すことに価値を置いている(少なくともそのように見える)文化に合わないなどと感じることが度々あります。ただ、幸いルームメイトとは気が合いますし、心理学の先生とも仲良くなれそうだなと感じるので、人との集まりにも適度に参加しながら留学を楽しもうと思います。また、専門分野の話になりますが、留学の動機である心理学についても、次回の定期報告で書こうと思います。

個人的にもっと聞きたいことなどあれば、気軽に連絡してください。

Email: [h201015@matsu.shimane-u.ac.jp](mailto:h201015@matsu.shimane-u.ac.jp)

